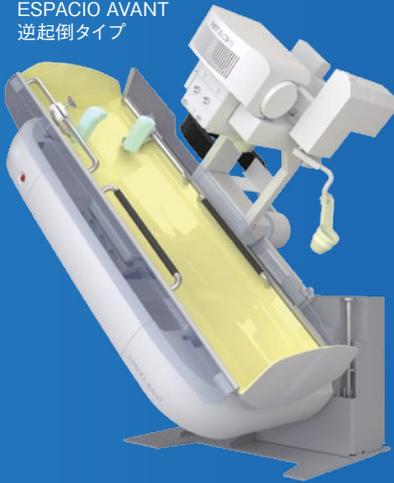


ECHELON Smart

ESPACIO AVANT
逆起倒タイプ

日立製作所

<http://www.hitachi.co.jp/healthcare>

theme **Creating new value through innovation and digital technologies**

- [主な展示製品]
- X線透視撮影システム「CUREVISTA」
 - マルチスライスCTシステム「Supria Grande」
 - MRイメージング装置「ECHELON Smart」
 - 放射線治療システム「Radixact」
 - 超音波診断装置「ARIETTA 850」
 - 電子カルテシステム「Open-Karte AD」
 - 光トポグラフィ装置「ETG-one」
 - 胃集団検診X線装置「ESPACIO AVANT」逆起倒タイプ



ARIETTA 850

日立製作所は、幅広い分野で培ってきたAIやIoT、データ活用の技術を組み合わせることにより、ヘルスケアの世界において新しい価値を創り出すことを目指している。

今年のブースでは、診断・治療の質向上、業務効率の向上から患者へのサービス向上まで、医療の多様な課題解決に活用できるソリューションを提案する。その中でも、日立が取り組んでいるAIによる放射線科サポート・トータルソリューションについては、ステージプレゼンテーションと製品展示により紹介する。

◆ MRI装置

「ECHELON Smart」

SmartQUALITY, SmartSPEED,

SmartCOMFORT, SmartECO, SmartSPACE, 高画質、高いワークフロー性能等の臨床上的の特長に加え、被検者に優しい静音機能、ランニングコストを低減する省エネ機能、そしてMRI導入の機会を広げる柔軟な設置性等の運用上の特長を、現場の担当者ならびにマネジメント層に訴える。

◆ 超音波診断装置

「ARIETTA 850」

新機能「Combi-Elasto」を搭載。これにより、2種類のエラストグラフィである『Real-time Tissue Elastography (RTE)』、『Shear Wave Measurement (SWM)』と、肝脂肪化の程度を推定する指標 (ATT) がワンボタンで同時に測定可能となった。

脂肪肝、肝炎、肝線維化、肝硬変など、一連の病態に応じた各指標を提供し、びまん性肝疾患の総合的な評価をサポートする。

◆ 胃集団検診X線装置

「ESPACIO AVANT」逆起倒タイプ

据置型のX線透視システムにも搭載されている高性能な画像処理エンジン「FAiCE-V NEXT STAGE1+」の採用により、高画質化を達成。また、装置の小型化効果で検診車内をより広く使用することが可能になった。最新型はさらに、起き上がり方向を左右両タイプから選ぶことができる。